

モンゴル大草原とカラコルム遺跡、の〜んびりツアー

1. 旧モンゴル帝国の首都カラコルムとエレデネゾー寺院

かつてのモンゴル帝国の首都・カラコルムが置かれた場所です。ここには1585年にエレデネゾーと呼ばれるモンゴル最古の仏教寺院が建てられ、108個のストゥーバが連なる外壁の囲まれた正方形の敷地の中に、仏舎利が配置され、草原の中に壮大な遺跡景観が遺されています。



2. ステップの大地、ブルドキャンプ地

カラコルムのベースキャンプである「ブルド」は、モンゴルに来たんだ！という実感をより強く味わせてくれる大草原です。右も左も、360度すべてが見渡せるブルドに来ると、大地に立って深呼吸したくなります。遊牧されているラクダやヤギにも出会えます！



3. モンゴルの伝統的なゲルの組み立て様式

モンゴルの旅では、ゲルの組み立て体験や乳製品づくり体験、遊牧民のゲルを訪問など、地元の人々の暮らしに触れ、実際に体験できる機会を積極的に取り入れています。



4. フスタイ国立公園

フスタイ国立公園はウランバートルから西 90 キロ、海拔 1842m に位置します。世界の最後の野生馬タビまたはプリジェワルスキー馬と呼ばれるモンゴルの野生馬がエリアに見られます。国立公園の中では匈奴時代のホスティンボラグ製鉄遺跡や鹿石などがあります。



5. 各地方のナーダム祭

毎年7月11日のモンゴルの革命記念日に行われる祭りです。ナーダムは「遊ぶ」あるいは「集う」という意味を持ち、競馬、相撲、弓の3競技を行うモンゴルの国民的なスポーツの祭典です。



6. セレンゲ県に位置するサイハンオボー

セレンゲ県から10キロぐらいの所に有名なサイハンオボーがあります。ここからモンゴル最大の2つの川（オロホン川、セレンゲ川）が合流してバイカル湖まで流れます。眼下に遠く見える国際列車とどこまでも続く大草原をお楽しみください。

